

# 平成21年度 第11回 真田地域協議会 会議次第

平成22年3月17日(水) 午後2時  
真田地域自治センター 301会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 真田地域自治センター長あいさつ

## 4 会議事項

(1) 平成22年度わがまち魅力アップ応援事業補助金の応募事業の審査

(2) 意見書の提出と回答について

(3) その他

## 5 その他

〔記念写真〕

## 6 閉 会

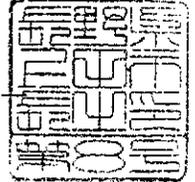
〔懇親会〕

21 真地振第 121 号

平成 22 年 3 月 8 日

真田地域協議会  
会長 清水 潤 様

上田市長 母袋創



### 協 議 依 頼 書

上田市地域協議会規則第 3 条 3 項に基づき、下記のとおり地域協議会にて御協議  
ください。

#### 記

1 件 名	「わがまち魅力アップ応援事業」の採択について
2 協 議 内 容	○ 真田地域の「わがまち魅力アップ応援事業」に対する採択について [別紙資料のとおり]







平成22年2月3日

上田市長 母袋 創一 様

真田地域協議会

会長 清水



意見書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	真田地域における観光の推進に関する意見
2 意見内容	<p>真田地域協議会は、第一次上田市総合計画の真田地域「地域まちづくり方針」の具体化に向けた協議を行いました。</p> <p>本地域協議会は、7項目の地域まちづくり方針を3つに分け、それぞれの分科会において専門的に協議し、さらに各分科会からの提案内容を全体会において協議した結果、本地域協議会の意見として真田地域の観光振興についてまとめましたので、別紙のとおり提案します。</p>

## 意見内容

### 真田地域における観光の推進に関する意見

～ 真田地域「地域まちづくり方針： 特色ある観光振興」の具体化について ～

#### 1 「真田氏発祥の郷」を活かした観光の推進

近年、テレビ放送・映画等において、真田氏に関連する史跡や施設が登場する機会が増え、真田の地を訪れる観光客が増加しています。この歴史ブームを好機として、昨年は住民有志らによる初の「真田行列ウォーキング」のイベントが開催されるなど、「真田氏発祥の郷」を活かした「地域まちづくり」の機運が住民に広まっています。

一方、多くの真田氏関連の史跡等については、地域内に広く点在し、相互の結びつきが希薄な状況にあり、必ずしも観光客に対して魅力のある「真田氏発祥の郷」を提供できていないのが実情です。

このような現状を踏まえ、「真田氏発祥の郷」であるこの地域の強みを最大限に活かした特色ある観光振興を地元住民と行政が連携を図って推進していく必要があります。

そこで、立地に優れた「ゆきむら夢工房・新鮮市」を地域内の観光拠点として整備するとともに、地域内の観光資源を有機的に結びつける施策を提言し、以下の項目を実施することを提案します。

夢工房にバス停の設置

夢工房を拠点とした地域内観光施設への交通手段の確保

夢工房への案内標識・看板などの整備、モニュメント等の設置

夢工房のトイレの増設、飲食施設・駐車場の整備

夢工房・新鮮市とふれあいさなだ館の連携を強化

農業振興と連携させた新鮮市の整備

夢工房以外の観光資源の案内看板・駐車場・トイレ等の整備

観光資源の維持管理に対する施策の実施

知名度のある「幸村(ゆきむら)」を活かした地域特有のブランドを確立

地域に潜在する伝統行事等を新たな観光資源として発掘

(別紙)

## 2 菅平高原スポーツ施設等の整備

菅平高原は、各種スポーツ合宿のメッカとして、わが国のトップアスリートが数多く訪れるなど、全国的な知名度を誇る地域です。しかしながら、現在の経済情勢に加え、スキー客(スキー人口)の大幅な減少、合宿誘致の地域間競争の激化など、菅平高原を取り巻く環境は厳しい時代を迎えております。

菅平高原がスポーツ観光地として進んでいく方向性として、他にはない菅平特有の魅力の向上をより一層図っていくためには、行政と民間が一体となった観光振興を推進していく必要があります。

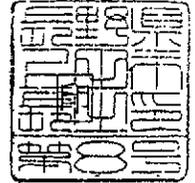
その上で、菅平高原におけるスポーツ施設の整備・拡充は極めて重要な施策と考えることから、次の項目について提案します。

菅平高原におけるスポーツ観光の代表的な施設である「サニアパーク菅平」周辺への人工芝グラウンドの整備、駐車場の増設及び投擲場等の整備  
国際的なスポーツイベントが開催でき、菅平高原の核となる総合的な複合施設の整備

21 真地振第 110 号  
平成 22 年 3 月 8 日

真田地域協議会  
会長 清水 潤 様

上田市長 母袋 創一



回 答 書

平成 22 年 2 月 3 日付け 貴地域協議会から提出のあった意見書について、  
下記のとおり回答します。

記

- 1 件 名 真田地域における観光の推進に関する意見
- 2 回答内容 別紙のとおり

## 回 答 書

真田地域協議会におかれましては、第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」に掲げられた「特色ある観光振興」の具体化について、熱心に協議を重ね、この度意見書をいただきましたことに、敬意を表するとともに感謝申し上げます。

### 1 「真田氏発祥の郷」を活かした観光の推進について

御提言にもありますとおり、最近では戦国歴史ブームと言われており、真田氏発祥の地である真田地域を訪れる観光客も増加しております。このブームをチャンスと捉え、また「観光地づくりは地域づくり」でもあることから、真田氏をぜひこの地域の振興に生かしてまいりたいと考えております。

今後「真田氏発祥の郷」を訪れる観光客の更なる増加が期待されるなか、さまざまな環境整備が必要であると認識しておりますが、ハード面のみならず、地域皆様の真田氏発祥の郷としての想いや誇りの醸成を高めていくことも必要であります。

この地域を訪れる観光客や地域の住民皆様の利便性をより高めていくため、地域の産業関係者や農業関係者と連携し、「将来のビジョン」の策定を進め、施設の整備等について研究してまいりたいと考えております。今後とも御理解と御協力を賜りたく存じます。

### 2 菅平高原スポーツ施設等の整備について

菅平高原は、国際スポーツリゾート地としてのステップアップ・高原野菜のブランド化による農業振興・豊かな自然環境の保全が求められています。

しかしながら、近年のスキー人口の減少にはじまり、経済不況など菅平高原を取巻く環境は非常に厳しい状況となっていることは、ご指摘のとおりでございます。

この地域の更なる振興には、地域の皆様の営農努力や広い視野に立った経営努力を御期待するとともに、地域の皆様との連携・協働が不可欠であります。

菅平高原の特性である、スポーツリゾートと豊かな自然環境、さらには高品質の高原野菜を生かした、「菅平高原振興ビジョン」を策定するなかで、施設の整備・拡充について検討してまいりたいと考えております。

今後とも地域協議会におかれましては、格別なる御理解と多大なる御支援をお願い申し上げます。

(真田産業観光課)

## 地域振興事業基金活用事業について

### 21年度基金活用実績見込

(単位：千円)

事業名	事業費	うち基金 充当額	備 考
わがまち魅力アップ応援事業 補助金	3,890	690	真田地域上乘せ分
サニアパーク10周年記念事業	2,600	2,600	実行委員会負担金 2,600 (高校ラグビー交流戦、大学ラグビー交流戦、藤田ラソニックアカデミ、少年サッカー大会、記念誌、記念タオル)
菅平高原国際リゾートセンター 改修事業	52,886	25,000	実施設計業務委託料2,877、施設改修工事49,991、 エレベーター保守18
真田体育館改修事業	20,013	10,006	屋根改修工事
合 計	79,389	38,296	

### 22年度基金活用計画

(単位：千円)

事業名	事業費	うち基金 充当額	備 考
わがまち魅力アップ応援事業 補助金	7,000	3,800	真田地域上乘せ分
真田氏歴史館企画展開催事 業	4,367	4,367	真田太平記館と提携し「夏季特別企画展」を開催
真田氏発祥の郷誘客事業	384	384	観光客が真田の郷を快適に移動できるように電動自 転車を5台購入
真田運動公園整備事業	5,400	2,700	駐車場不足を解消するため、隣接地に駐車場を整備 (碎石敷、A=2,600m <sup>2</sup> 、87台)
合 計	17,151	11,251	

## 真田地域バス運行改善計画の実施について

### (1) 路線バス（上田バス傍陽線）のルート変更（資料-1）

- ・第 5 回上田市公共交通活性化協議会（平成 22 年 2 月 23 日開催）において、平成 22 年度事業として本件を提案し、承認されました。
- ・国庫補助事業で実施するため、平成 22 年度から補助申請などの事務手続きを行い、実施時期は、夏ごろを予定しています。
- ・今後、実施に向け上田バス(株)と協議し、最終的に時刻表などが決定されてまいります。これにより、詳細について地元へ PR し、バス利用を呼びかけてまいります。

### (2) ふれあいバスのルート変更（資料-2）

- ・利用者の利便性向上のため、一部ルート変更を行います。
- ・新年度当初から実施します。

## 傍陽線改正案

## 《概要》

- 本原地区の公共交通空白地域を解消するため、傍陽線を本原地区へ迂回運行する。
- 傍陽線として運行する平日 24 便、土曜 22 便を本原地区へ迂回運行する。

## 《沿線サービスレベルへの影響》

- 迂回によりサービスレベル低下が懸念される「下原～真田自治センター入口」は傍陽線の外、真田線 17 便、菅平高原線 25 便（通常平日）の運行があるため、大きなサービス低下とはならない。

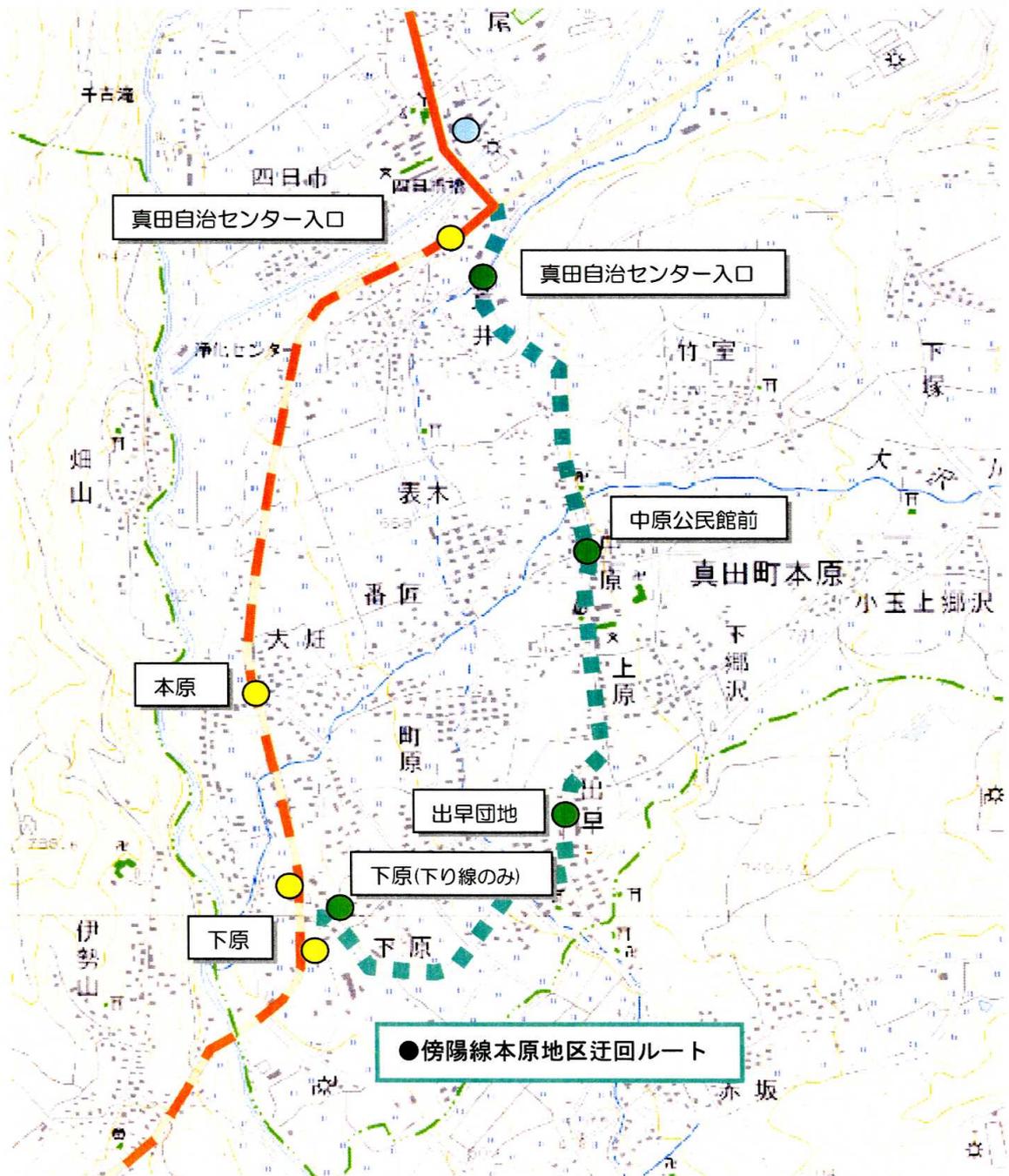
## 《運賃》

- 現在「真田自治センター入口～下原」は 100 円である。迂回区間も距離は異なるが、区間は同一であるため迂回区間＝100 円区間とする。

## 《バス停》

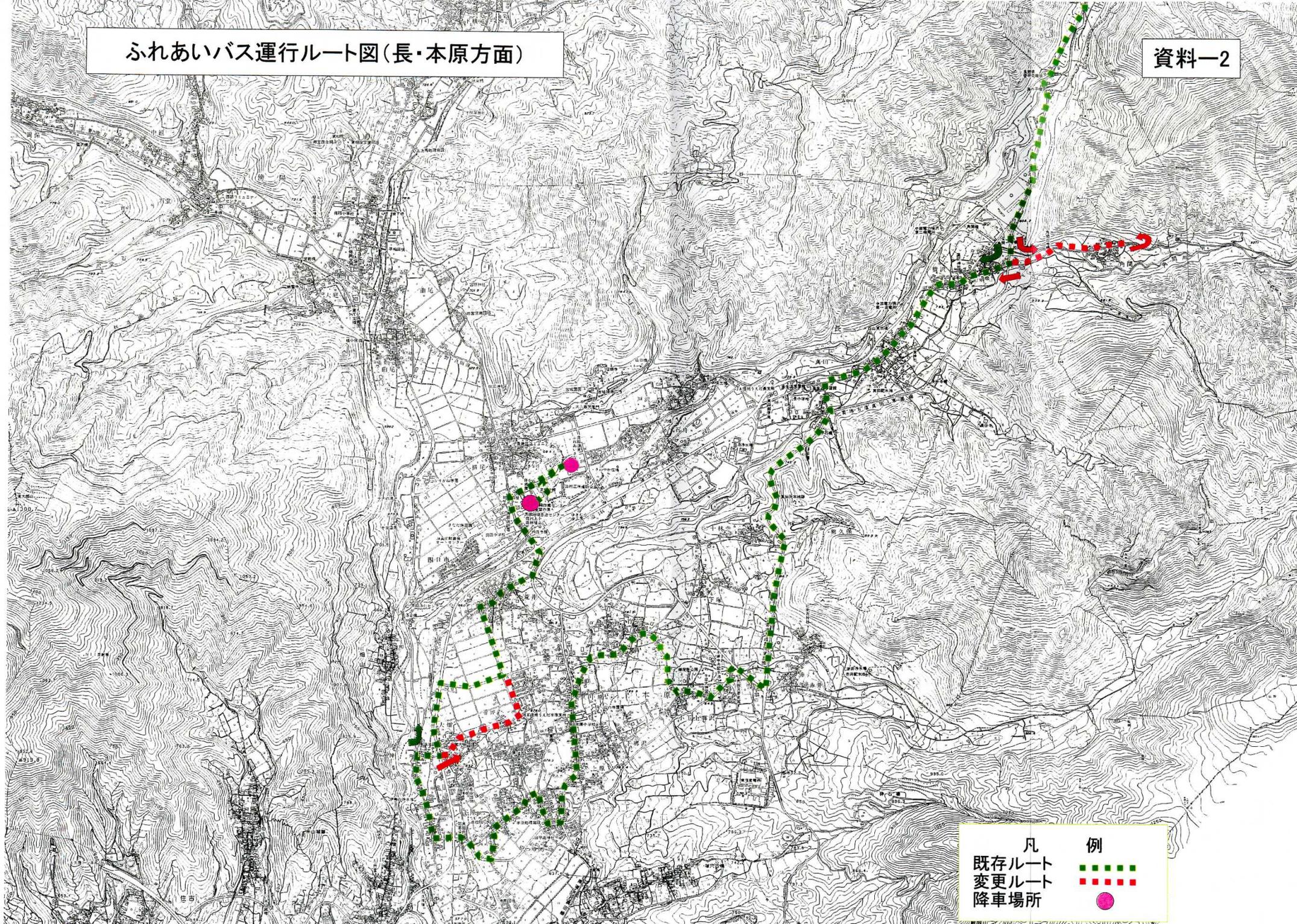
- バス停は 4 つ設ける。位置は下図を参照。

## 《路線図》



ふれあいバス運行ルート図(長・本原方面)

資料一2



凡	例
既存ルート	■ ■ ■ ■ ■
変更ルート	■ ■ ■ ■ ■
降車場所	●

平成22年3月24日



上田市長 母袋 創一 様

真田地域協議会  
会長 清水 潤



意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	「わがまち魅力アップ応援事業」の採択について
2 意見内容	別紙のとおり

## 意見内容

真田地域協議会は、協議依頼のありました「わがまち魅力アップ応援事業」の採択について、3月17日開催の地域協議会において協議を行い、本協議会として真田地域における当該事業の採択についての意見を、下記のとおり取りまとめました。

上田市におかれましては、本地域協議会の意見を尊重いただき、交付申請書が提出された場合、交付決定をしていただきますよう希望いたします。

なお、協議に際して委員より出されました意見を付しますので、申請者に通知願います。

### 記

#### 平成22年度 わがまち魅力アップ応援事業 採択協議結果

##### 1. 採択とする意見の事業

(1) 個性あるふるさとづくり応援事業 : 4件

自治会名	事業名	交付申請上限額
傍陽中組区	自然と文化の地域資源を活かした 活気あふれる集落づくり事業	339,000円
横尾区	横尾の歴史と文化を守り 区民の触れ合える里 横尾区	761,000円
戸沢自治会	文化財や歴史、伝統の継承は未来を創造する礎 「ねじとわら午の里」戸沢自治会	664,000円
真田自治会	真田の歴史と文化を守り自治会員の触れ合える里 真田自治会	557,000円

上記4事業については、特段の意見はありません。

(2) 特色あるまちづくり応援事業 : 6件

団体名	事業名	交付申請上限額	
信州しあわせ村真田 さくら会	信州しあわせ村真田 さくら植栽事業	250,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・植えた場所、本数を明確にすること。(21年度実施状況を協議会で確認する)</li> <li>・さくらは病気に弱いので植えた後の管理を徹底すること。</li> <li>・菅平の植生に合った特色ある樹木の検討も望まれる。</li> <li>・下草刈りなど、ボランティアを呼びかけたらどうか。</li> </ul>			
“お屋敷つつじ祭り” 真田三代ヒストリー プロジェクト	お屋敷つつじ祭り	500,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単発的な取組にならないよう、継続性を考慮すること。</li> <li>・地元産の特産品販売なども検討されたい。</li> </ul>			
りんごまつり保存会	身代わり地蔵りんご祭り	500,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民話を聞けるような企画の検討をされたい。</li> </ul>			
下郷沢活性化組合	郷の農地および山林の活用	808,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化に対応できる対策を検討されたい。</li> </ul>			
幸村街道会	真田一族の郷 しあわせむら(幸村)のお宝発見ウォークツアー	再提出	
条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看板の設置とキャラクターづくりがメインになっているが、どのような看板とするかとウォークツアーの内容が明確でない。ひとつの事業としてウォークツアー・豆まき・キャラクターづくり・看板設置の関係が不明である。</li> <li>真田地域を盛り立てる意気込みは感じられるので、事業内容をさらに具体化し再提出されたい。不明な点が明確になれば採択とする。</li> </ul>		
	菅平スカイライン トレイルランレース 実行委員会	菅平スカイライントレイルランレース &アウトドアミーティング	再提出
条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポンサーをつけて業者任せの運営であれば、補助対象事業としては適当ではない。パンフレットの作成についても地元が関わるべきであると思慮される。</li> <li>・ただし、地域のPRとしては有効なイベントであると考えられるので、全体事業から菅平高原及び真田氏をアピールするために地元として取り組む事業を分離し、計画を再提出されたい。その内容が確認できれば採択とする。</li> <li>また、レースには地元参加枠を必ず設けること。</li> </ul>		

2. 採択しないとする意見の事業

該当なし